

まちの日記帳



町内小中学校で

国際交流

11/23



今年で9回目を迎える「海外研究員との交流事業 in 積丹」が各小・中学校で行われ、アメリカ・ロシア・パラグアイなど8カ国13人の研修生と児童・生徒が思い出に残る交流のひとつを過ごしました。

各学校では、歓迎のあいさつや自己紹介が行われた後、和紙の折染やもちつき体験など日本の伝統的な文化を披露したり、研修生の自国での生活の様子や遊びを写真を使って紹介したりなど、言葉の壁を越えて文化の違いについての貴重な学習が行われました。

今年も笑顔でふれあい

「食改」が老人世帯に「手作り弁当」の配給サービス

11/28



積丹町食生活改善推進員会（越谷玲子会長）は、「手作り弁当」の配給サービスを行いました。毎年恒例となったこの活動は、同会が食生活の改善を通じて住民の皆さんの健康を守るために積極的に取り組むさまざまな活動の一環として実施され、昭和60年頃から行われております。

今回は焼き魚や煮物など心のこもった手作り弁当85食が老人世帯75世帯に届けられ、受け取った方からは「毎年ありがとう」「楽しみができていたよ」と喜びの声があがっていました。

びくに・みなと保育所で

生活発表会

11/29, 12/13



第32回びくに保育所、第15回みなと保育所の生活発表会がそれぞれ行われました。



▲ 11/29 みなと保育所

園児全員の開会の言葉で始まった発表会は、工夫を凝らした劇や遊戲、手遊びなど小さな体をいっぱい笑顔で表現し、かわいい衣裳がより一層会場を盛り上げました。成長した我が子の姿を見ようと会場いっぱい詰めかけた家族からは、一幕ごとに大きな拍手と声援が送られました。

税を考える週間

納税意識の向上に役立てて

12/2



余市地方法人会積丹地区会青年部と町納税貯蓄組合連合会から12月2日に町内小学校1年生13人に防犯ブザーと6年生12人に和英辞典等が贈られました。これは、納税意識の向上を目的に両団体の活動の一環として毎年行っているもので、社会の仕組みや税金のことについて考えてもらいたいとの願いをこめて行っているものです。

この日は、播磨修一青年部長が各小学校をまわり1年生、6年生にそれぞれ手渡しました。

